

公益財団法人 日揮・実吉奨学会
平成 23 年度研究助成金希望者募集要項

1. 応募枠

各大学2名以内。

2. 研究助成金

22年度より各大学1名に対し200万円を支給。ただし、予算と選考結果を勘案し、採用件数について調整を行うことがあります。なお、海外渡航費はこの助成の対象外とします。

3. 応募資格

学部、大学院、または大学付置の研究機関に所属する理工系（医学・歯学・薬学系は除く）の研究者で大学推薦のある方。ただし、原則として40歳以下で常勤の正教員。
※、過去に当財団の研究助成金を受給された方はご遠慮下さい。

4. 募集期限

5月25日（水）当会必着

5. 採用決定

6月中旬に大学宛に通知します。

6. 助成金贈呈式

9月6日（火）、銀行倶楽部（東京都千代田区丸の内）にて行う予定です。

7. お願い・その他

- 1) 推薦文は、研究助成金申込書兼推薦書の推薦欄にお書きください。
- 2) 応募のない場合は、お手数ですがその旨文書にてご連絡ください。
- 3) 助成金の使途は申請された研究に係る直接経費としてください。オーバーヘッド(間接経費)に充てることはできません。
- 4) ご提出いただきました応募書類等につきましてはご返却いたしません。
- 5) 個人情報について
 1. 当会が研究助成金の申請に関して取得する個人情報は、選考作業や助成可否の通知、採用決定後の業務など、必要な範囲に限定して取り扱いします。
 2. 当会は本件助成が決定した場合、本人の同意を得て決定者に関する情報を財団法人助成財団センターに提供するほか、一般公開いたします。

以上

理工系研究者対象

研究助成金応募のてびき

概要

- I 日揮・実吉奨学会について
 - II 研究助成金制度のあらまし
 - III 応募書類の作成について
-

につき・さねよししょうがくかい
公益財団法人 日揮・実吉奨学会
JGC-S SCHOLARSHIP FOUNDATION

I 公益財団法人 日揮・実吉奨学会について

1. 設立の趣旨

実吉雅郎氏 (Masao Saneyoshi, 1893-1967) は、生前40年の長きにわたり日揮株式会社 (JGC CORPORATION) を主宰し、同社が日本の代表的国際級エンジニアリング会社に発展する礎を築くとともに、我が国の産業経済発展の原動力となる科学・技術の発展と、世界に通用する科学者・技術者の育成に情熱を傾けました。当財団は、同氏の強い遺志に従い、その寄付を基本財産として1968年に設立された奨学団体です。

2. 当財団の事業

当財団は、次の3つの事業が大きな柱となっています。

1. 貸与奨学金事業

大学および大学院に在学し、主として、理工系の学科を専攻する日本人学生対象 (2011年度より停止)

2. 給与奨学金事業

大学および大学院に在学し、主として、理工系の学科を専攻する日本人学生および外国人私費留学生対象

3. 研究助成事業

大学の若手研究者 (正教員) 対象

ここに募集する研究助成は3の事業で、当財団が指定する大学を通じて申込みされた方の中から、選考の上支給するものです。

Ⅱ 研究助成制度のあらまし

1. 研究助成金額と範囲および助成期間

(1) 助成金額と採用件数

原則として1大学当たり200万円(1件)。ただし、予算と選考結果を勘案し、採用件数について調整を行うことがあります。

(2) 助成範囲

研究に係る直接経費としてください。オーバーヘッド(間接経費)に充てることはできません。また、海外渡航費用は対象外とします。

(3) 助成金支給日と期間

支給日：9月第1火曜日(研究助成金贈呈式開催日)

期間：1年間(9月1日～)

2. 応募資格

当財団指定の73大学を奇数年度は37大学、偶数年度は36大学に分けて、隔年で募集いたします。これらの大学の理工系(医学、歯学、薬学系を除く)の研究室において、研究を行っている新進の研究者(原則として40歳以下で常勤の正教員)で大学推薦のある方を対象とします。

※過去に当財団の研究助成金を受給された方はご遠慮ください。

3. 応募書類と募集期間

(1) この助成を希望される方は、「Ⅲ 応募書類の作成について」(4,5ページ)をご参照の上、次の書類を大学経由で当財団にご提出ください。

① 研究助成金申込書兼推薦書(当財団所定用紙)

② 研究計画書

(2) 募集期間

4月1日より5月下旬まで。(詳細は大学担当者にご確認ください)

4. 選考と決定

(1) 6月中旬に開催される当財団研究助成選考委員会の選考結果に基づき、採否を決定し、結果は大学を通じ申込者に通知いたします。

(2) 採用された方は、大学より次の書類の交付を受け、②および③については所要事項を記入・捺印の上、必ず指定期日までに大学経由で当財団にご提出ください。

① 「研究助成金支給決定通知書」

② 「誓約書」

③ 「研究助成金の受入方法(依頼書)」

5. 助成金贈呈式

9月第1火曜日に銀行倶楽部(東京都千代田区丸の内)で贈呈式を行い、同日に振込指定口座へ送金いたします。贈呈式の詳細については、7月上旬に採用者ご本人に直接ご通知いたします。

6. 研究報告

研究助成金を受給された方には「研究報告書」をご提出いただきます。原稿は当財団で受理・保管し、助成期間終了の翌年3月に小冊子「研究報告集」として取りまとめ関係者に配布する予定です。

(1) 「研究報告書」の作成について (フォーマットはありません)

縦A4サイズの日本語横書きで5千文字程度。図表等は原則的にモノクロ印刷となりますので、見やすいものを添付してください。

(2) 提出期限について

- ① 助成金を受給された年の翌年10月末日(研究が継続中の場合も含む)。
- ② 期限内であっても、研究が早く成果を収めて完了した場合、あるいは何らかの理由で研究を中断した場合は、その時点から2ヵ月以内。

(3) 「研究成果概要データベース」の登録について (任意)

この助成金による研究結果は、当財団が提携している財団法人助成財団センターの「研究成果概要データベース」に登録(「国立情報学研究所」にて文部科学省科研費のデータと統合しポータルサイト<http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>上で公開)させていただきます。

7. 助成金使途の明細報告

申請時の「研究計画書」の必要経費(助成金充当予定)にそって作成いただき、領収書を添えて「研究報告書」とともにご提出ください。なお、助成金を大学寄附金扱いとされた場合は、大学の経理帳簿等のコピーにご担当者の署名捺印をいただければ、その書面をもって使途明細書および領収書といたします。ただし、いずれの場合も研究遂行上やむを得ず発生した使途により予定から大幅な違いが生じた場合は、その理由を明記してください。

8. その他

当財団は、工業著作権などの共同所有の主張はいたしません。この助成金による研究成果を内外に発表される際は、公益財団法人日揮・実吉奨学会(JGC-S SCHOLARSHIP FOUNDATION)の助成による旨を付記していただければ幸いです。

Ⅲ 応募書類の作成について

1. 「研究助成金申込書」について

- (1) 「申込書」は、本人が記入し捺印してください。
「研究計画の概要」1～9は、「研究計画書」の要約をご記入ください。
- (2) 「推薦欄」（申込書の下段）には、学（総）長、学部長または研究所長の推薦（印）を受けてください。なお、推薦に際して特に追記すべき事項があればご記入ください。

2. 「研究計画書」の作成について

「研究計画書」は次の1～9の項目別に、日本語横書きでわかりやすく縦A4サイズの用紙にまとめてください。

※表紙を除き、以下項目別にページを分ける必要はありませんが、「該当なし」の場合も含め、全ての項目についてご記入ください。なお、ページ数については制限はありません。

(1) 表紙

研究課題、大学名、学部・学科名、職名、氏名（ふりがな）、直通電話・FAX番号・E-mailを表記してください。

(2) 研究目的

研究成果が学会や社会に及ぼす効果などを出来るだけ簡潔にわかりやすくご記入ください。

(3) 研究の独創性

特に、研究の独創性・新規性についてポイントを強調しご記入ください。

(4) 研究計画

何をいつまでにどのように行うか、研究の具体的な内容・手順・スケジュール等を簡潔にご記入ください。

(5) 必要経費と助成金の使途

① 経費概算総額と内訳

研究に必要な概算総額を示し、その内訳と使途を次の項目に分けてください。

a. 設備、備品費

b. 消耗品費

c. 文献、謝金、旅費（海外渡航費は対象外）、その他

② 助成金を充当したい費用の項目と金額

上記、概算総額の中から助成金を充当したいものを項目別に内訳、品名、金額を具体的に示すべく詳細に示してください。

※概算総額の内訳の該当項目にマークを示しても結構ですが、いずれの場合も助成金の使途と金額がわかるようにご記入ください。なお、オーバーヘッドに充てることはできません。

(6) 本人の履歴

現職名、氏名、生年月日、本籍、現住所および学歴、職歴を列記してください。

(7) 研究協力者

グループ研究の一部として行われる場合には、研究協力者の職名、氏名(ふりがな)、年齢および略歴をご記入ください。

(8) 発表論文リスト

今までに発表した論文リストをつけてください。

(9) 他の機関の助成金受給状況 (今回の申請と同種テーマについてのみ)

- ① 文部科学省の科学研究費の申請をされている場合および受給が決定している場合は、種別と課題名、申請状況(年度、金額等)について略記してください。
- ② その他の機関より補助金や寄付を過去および現在受給中の場合は、名称、受給年月、金額を略記してください。

—個人情報取り扱いについて—

1. 当財団が研究助成金の申請に関して取得する個人情報は、選考作業や助成可否の通知、採用決定後の業務など、必要な範囲に限定して取り扱いします。
2. 当財団は本件助成が決定した場合、決定者に関する情報を財団法人助成財団センターに提供するほか、一般公開いたしません。

このリーフレットは助成金支給決定以後の事項についても記載してありますので、申請された方は保存し参考にしてください。

につき さねよししょうがくかい
公益財団法人 日揮・実吉奨学会

JGC-S SCHOLARSHIP FOUNDATION

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1
新大手町ビル

電話：03 - 3241 - 2907

FAX：03 - 3241 - 2973

<http://www.jgcs.or.jp>

2011.4